



# めんどり通信

発行 子どもを亡くした家族の集い

発行責任 橋本明子

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

当集いは、たいせつな子を亡くした後の様々な想いを語り合って、20年目に入りました。

始まったのは1993年5月の母の日でした。これまでの“ふた昔”近い歳月に、阪神淡路大震災、アメリカの9.11、そして昨年の東日本大震災を含むたくさんの災害や事件がありました。

大事件、大災害では、たくさんの「予測外の死で家族を奪われる厳しさ」に、世間の耳目が集中します。心の支援もいっせいに始動します。それは、事件や災害を契機として防衛や防災に人智が注がれるのと同じことだと思います。

ですから、しばらく休んでいたこの集いも再開です。語り合うことで支え合う、という集いの形もまた「あり」、ということ。

ありえない「子の死」からの日々、あの子の後を追いたい母達父達。一緒に居ましょう。慟哭するところの深層を「うん、そうそう」「その気持ち、同じだ！」と理解するだけですが、想いを共有することにきっと意味があるはず。

## ➤5月30日（水） 東京の集い

午後6時～8時 参加費（会場費分担金）お1人1,500円

市ヶ谷麴町 番町教会 会議室

千代田区四番町7-5

JR市ヶ谷駅から新坂→日本テレビ通りを3分。

地下鉄有楽町線麴町駅6番出口を右、日本テレビ通りを2分。

オリジン弁当とコンビニの間に入る。

## ➤6月17日（日） 愛知の集い

午後1時～3時 参加費（会場費分担金）お1人1,500円

名古屋市女性会館

名古屋市中区大井町7-25 TEL052-331-5288

地下鉄名城線「東別院」下車1番出口から東へ徒歩3分

いずれの会場も人数把握のために参加申し込みをお願いします。

つばさ事務局 03-3207-8503 金曜日 12時～17時

会場への案内図はちょうど良いのがなくて掲載がむずかしいことから、上記説明ではどうしてもご不明な場合は併せてつばさ事務局にお問い合わせください。

この集いは「同じ想いを分かち合う」という時間の過ごし方なので、それが適切と感じる人にご参集いただけたら幸いです。

「今は無理、とても話せない」人は、ただ泣いているだけでもかまいません。ご夫妻そろってでも、どちらかお1人でも。

亡くした理由、亡くなった子の年齢、亡くなってからの年月も、問いません。

お待ちしております。

代表 橋本明子

➤めんどりの集い <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~hiroba/mendori/index.htm>

（血液情報広場・つばさHP <http://tsubasa-npo.org/> 内の「仲間・リンク」にあります）